

9月1日から定例議会

平成21年度決算が審議される議会が始まりました。詳しい議事日程は下記の通りです。

日本共産党議員団を代表して、橋爪団長が総括質疑を行いました。（報告は次月号にて）

会議開始時刻はいずれも午前10時です。みなさんぜひ傍聴においで下さい。

月日(曜)	会議名	会議室名	備考
1日(水)	本会議	議場	提案説明 総括質疑
2日(木)	本会議	議場	総括質疑
3日(金)	文教経済委員会	第1委員会室	上野議員 担当
6日(月)	文教経済委員会	第1委員会室	
7日(火)	厚生委員会	第1委員会室	平良木議員 担当
8日(水)	厚生委員会	第1委員会室	
9日(木)	建設企業委員会	第1委員会室	樋口議員 担当
10日(金)	建設企業委員会	第1委員会室	
13日(月)	総務委員会	第1委員会室	橋爪議員 担当
14日(火)	総務委員会	第1委員会室	
15日(水)	予備日	第1委員会室	
16日(木)	本会議(一般質問)	議場	
17日(金)	本会議(一般質問)	議場	
21日(火)	本会議(一般質問)	議場	
22日(水)	本会議(一般質問)	議場	
24日(金)	本会議(一般質問)	議場	
28日(火)	本会議	議場	付託案件 採決

命と人権を保障すべき自治組織めざすわが街の実践 「地域自治区」学ぼうと全国から120名

南は長崎県雲仙市から北は宮城県仙台市まで、全国各地から120人の人たちが上越に集まりました。8月28・29日に春日謙信交流館で行われた『地域自治組織セミナーin上越』です。

主催は「自治体問題研究所(全国組織)」にいがた自治体研究所。それに地元「くびき野地域問題研究会(まち研)」です。参加者の顔ぶれも実に多彩。学者・研究者や自治体職員、議員や学生など地方自治に関わる多分野の人たちです。

一日目は、地元上越市長の歓迎のあいさつ(野口部長が代読)に続き、上越市自治・地域振興課の池田浩副課長による講演「上越市地域協議会の実際と可能性」などが行われました。



授が『地域づくりと地域自治組織』と題して講演しました。岡田教授は「自治体の役割は命と人権をいかに保障すべきかということ。そのために自治体は暮らしを守るための組織として存在している」と指摘。行財政権限や条例決定権を活用して地域内再投資をかけることが重要だと語りました。

そして、「地方自治とは、そこに生活する住民の意思をいかにくみ取るかが重要だ」として、顔の見える、小さくても輝く自治体こそが求められると述べました。

さらに、その点から、①住民は比較的狭い生活領域で暮らしておられ、近年は高齢化の進行でさらに狭域化している、②小規模自治体では住民の生活から自然条件まで一体として把握できる、③小規模自治体では主権者としての住民と自治体との物理的・社会的「距離」が短い、④大規模自治体では行財政の中枢機能が生活領域から分離し行政が縦割りになる。そのため住民や地域を一体と

1日目のセミナー終了後は、会場を移して交流会が行われ、全国の参加者から「現地で直接触れたい」と感想が語られました。

この後、実際に地域協議会委員として活動している5人の市民がパネラーとなって、その実



講演する岡田教授

2日目は、『地域自治区』と題するパネルディスカッションが行われました。ここでは、新潟市と宮崎市の実践例が紹介され、会場参加者とのやりとりを交えながら、それぞれの課題などが明らかになりました。



地元の地域協議会委員によるパネルディスカッション
左から司会の石崎氏、宮越氏(高田区)、町屋氏(直江津区)、安達氏(谷浜桑取区)、佐藤氏(大潟区)、山岸氏(吉川区)

して把握することが困難になっている、⑤そこで、この問題を解決するための有効な手段となりうる『地域自治組織』の活用が焦点になってくると説明。その先進例が上越市の「地域自治区と公募公選制」による地域協議会」による住民主権だと分かりやすく解説しました。



120名にのぼる全国からの参加者

日本共産党上越市議員団ニュース

No.247 2010年9月5日

連絡先 橋爪 法一 548-3628 (吉川区代石)
樋口 良子 544-6802 (中門前3)
上野 公悦 530-2203 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 525-9096 (上中田)